

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國其他

對

荒木貞夫其他

宣誓供述書  
十河信二

供述書

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ツ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上  
次ノ如ク供述致シマス



口 述 書

私ハ東京都本郷區弓町二丁目二六番地ニ居住シテ居リマス。  
過去數十年ニ互リ鐵道事業ニ關係シタ緣モアツテ現在ハ慈善事業ノ財團  
法人鐵道弘濟會ノ會長ヲシテ居リマス。  
私ハ昭和五年（一九三〇）七月カラ同九年（一九三四）七月迄滿四年間  
南滿洲鐵道株式會社ノ理事トシテ勤務シテ居リマシタ。昭和六年（一九  
三一）五月頃、時ノ總裁仙石貢氏ガ病氣ノタメ退職、内田康哉氏ガ之ニ  
代リマシタ。滿鐵總裁更迭ノ際ニハ慣例トシテ新總裁ハ各省份ニ大臣及  
官幹部ヲ招待シ、各省大臣モ亦之レガ答禮トシテ滿鐵幹部ヲ招待スルノ  
ガ常デアリマシタ。昭和六年（一九三一）七月一日附朝日新聞掲載ノ南  
陸相ガ滿鐵總裁内田氏以下全理事ヲ官邸ニ招待シタト云フ記事ハ此ノ慣  
例ノ招待ニ對スル答禮ノ宴會ニ過キマセン。此ノ慣例ノ宴ハ儀禮ノ外何  
等ノ意味モ無イノデアリマス。



昭和廿二年（一九四七年）二月十九日於東京

供 送 書 十 河 信 二

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ署名捺印シタルコトヲ證明

シマス

同日於東京

立會人 近 藤 一



コトヲ

良心ニ従ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ欺惑セズ又何事ヲモ附加セザル

宣  
誓  
書

(署名  
印名)

十  
河  
信  
二